

HOMI わいわい農園ニュース

N035 2026年7月15日発行

発行責任者 森 賢一 ☎090-4466-5771 Email:homiynoen@gmail.com

お知らせ

6月12日から「HOMI わいわい農園の会」のホームページが新しくなりました。

サイトURL <https://homiwainouen.org/>

日本語は勿論、ポルトガル語、英語、ウクライナ語、中国語などでも読むことができます。
どなたでも、見ることも、質問や意見を述べることもできます

HPを担当するのは築山欣央（よしお）氏で、愛知県立芸術大学非常勤講師（日本国憲法）

（注）会員が写真や文書などを、ホームページに掲載したいときは、“ライン”を活用してください。

（注）“ライン”は、間もなく開始されます。改めてご案内します。



7月1日（水）発行の豊田市の「広報」とひまわりTVで「HOMI わいわい農園」と共同代表の森賢一とネイア・ワダウエが特集で掲載されました。

多文化共生農園を目指して活動してきたこの3年余のブラジル人も含めた市民の努力が、漸く地域に根を下ろしてきたことを認められた瞬間ですね・・・

7月5日（日）、ベトナムの青年6名が新たに入会し、早速、ベトナム野菜などの定植



この日は、先週の雨で延期した「協働作業」を行いました。参加したのは、タカキ親子、木村親子、ベトナム人5人、ネイア・ワダウエ、森の11人です。トマトやキュウリを収穫しながら、丁寧に草取りに汗を流しました。

この日新たに入会したベトナムの6人の青年は、ダム・ヴァン、ホアン、ティ、ラン、ガさんら。早速、ジャガイモを収穫した後の畑、耕運機で土起こし手掘りの畝たてなど、手慣れた作業に汗を流しました。途中で、ネイアさんの手料理で軽い昼食を取りながら、つるむらさき、モロヘイヤ、空心菜、ヒユナ、パクチ、ミントなどベトナム野菜も交えた野菜の定植を行いました。

初めて、名古屋難民支援室(DAN)の要請にこたえて野菜を提供

会員で中京大学非常勤講師の神田すみれさんからの急な要請で、名古屋難民支援室の食糧支援活動に「HOMI わいわい農園」として急遽7月3日にとれたての野菜を提供しました。とれたてのじゃがいもやキュウリなどを急いで集め、さらにネイア・ワダウエ共同代表からもニンニクや玉ねぎなどを提供していただき一緒に持っていき、大変喜ばれました。支援は「特定非営利活動法人名古屋難民支援室(DAN)」を通じて、名古屋市などに住むアフガニスタンやアフリカ各国出身の難民の皆さんに届けました。今後も、機会があれば野菜などの支援を続けたいと思います。(難民の現状は、今後このニュースで取り上げていきます。)

・ 2026年7月5日(日)本山の生協生活文化会館にて、2~10の9世帯の難民の方々に合計25箱の食料品・日用品・メッセージ等を47名の参加者が3つのグループに分かれ、各グループが3世帯ずつ担当し仕分け・発送しました。

・早速、2の家族5人の方から、お礼の言葉が寄せられています。・本日、荷物を受け取りました。私を助けてくださるために費やしてくださったお時間、ご尽力、そしてご親切に、心から感謝申し上げます。あなたが私のためにしてくださったすべてのことに対し、本当に感謝しています。

・ いつか、あなたや、懸命に働いてくださっている仲間の皆様への恩返しができる機会があればと願っています。

・ 改めて、すべてに感謝申し上げます。あなたは本当に親切にくださり、そのご支援に心から感謝しています。

7月12日(日)の協働作業 33℃の蒸し暑さの中で協働作業、草取り中心です。

この日の参加者は、木村親子、今北夫妻と伶ちゃん、斎藤、渋谷、近藤、佐久間(パン缶詰持参)、ネイア・ワダウエ、森、そして途中からベトナムの青年、ファン、ランさんも参加しました。

暑さの中で、みんなで草取りや水撒きに汗を流し、キュウリやトマトを収穫しました。

ベトナム野菜も先日の続きの定植をすすめました。

右の写真は、6月14日(日)の撮影です



BBQ 交流会へのお誘い

7月18日(土) BBQ 交流会は雨もなさそう、学生たちを中心に準備します。12時開幕!おいしい肉や野菜が会員や市民の皆さんの参加をお待ちします。

参加費は一人1000円(中学生以下は無料)

参加希望は、電話でもメールでも23日(木)正午までに申し込みを・・・